

マイ北海道 世界に発信 米老舗出版社が英語ガイド

【倶知安】米国の老舗出版社「タトル出版」のケル・トップ会社、チャールズ・イー・タトル出版（東京）は10月、北海道の英語ガイドブック「My HOKKAIDO AI DO（マイ北海道）」を世界30カ国以上で発売する。オーストラリア出身で後志管内倶知安町在住の写真家、アーロン・ジャミエソンさん（43）が写真と文章を担当。世界の旅行者らに向けて全道各地の自然や文化、食の魅力などを200枚以上の写真を使い、多彩に伝える。

チャールズ社が、観光地

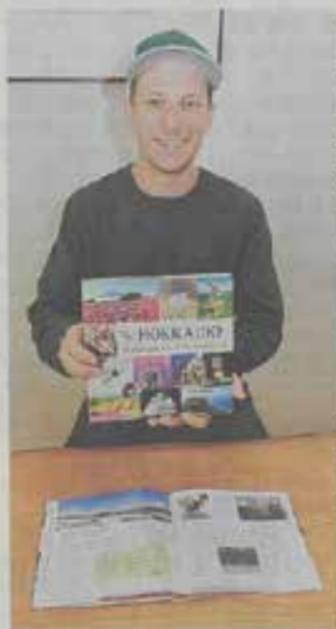
として有望な北海道の情報を世界各地に発信しようと企画。2006年から同町に住むジャミエソンさんが5年かけて取材し、写真家仲間らの協力も得て完成させた。

兼通でジャミエソンさんは「北海道の自然と、人々が感じる気象に調和し生きている姿が好き」と強調。「光の海のような」函館山の夜景、「美しく刻々と変化するパッチワークの畑」が広がる富良野周辺、「地球上で最も雪が多い」スキーツートのニセコなど、各地の魅力や、美しい色彩の写

倶知安の豪写真家が取材

真と文章で表現している。歴史にも目を向け、先住民のアイヌ民族の歩みや文化を盛り下げたほか、旧国鉄十勝線のアーチ橋梁群（十勝管内上士幌町）などを「隠れた宝」と採賛、ラーメン、スープカレーといった食のコラムもある。取材で約10万台を車で走ったというジャミエソンさんは「自分が恋した北海道の魅力や、多様な目的で訪れる人々に伝えたい」、同

社のエリック・ウィス長（69）は「北海道を知りたい、旅したい、という気持ちになってほしい」と話す。21号 四方のハードカバー、1200円。10月28日発売。店頭では特別価格の900円。吹米、アジア各国のほか、札幌やニセコ地域の書店などにも扱う予定。通信販売「アマゾン」で予約受け付け中。問い合わせは同社、電話03・54437・001（須藤真由）



「この本が北海道の新たな魅力を発見する手助けになれば」と話すアーロン・ジャミエソンさん